

第103期 株主通信

2017年4月1日 — 2018年3月31日

目次

株主の皆様へ	1
決算ハイライト	3
トピックス	5
会社情報／株式情報	6



増収増益で過去最高実績となりました。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第103期(2018年3月期)の経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。今後も引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長 朝倉 研二



Q 当期の振り返りをお聞かせください。

A 売上、各利益とも過去最高を更新しました。

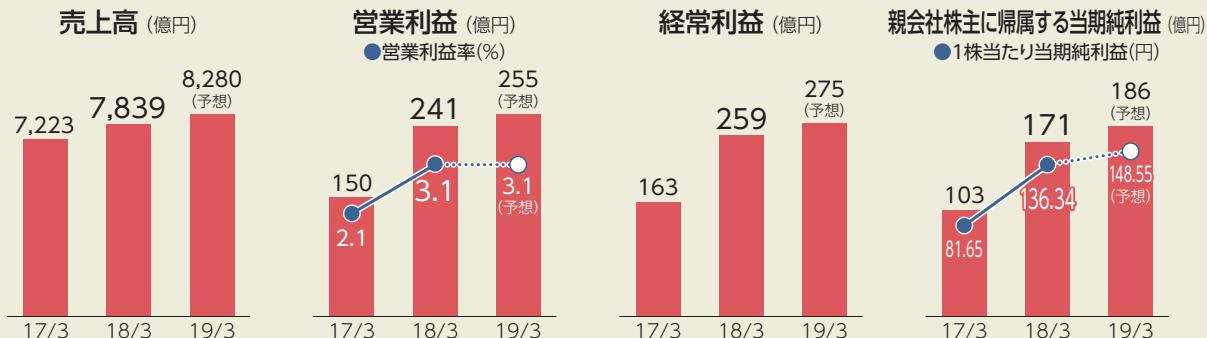
2018年3月期の日本経済は、企業収益、個人消費とも回復基調を維持しました。世界経済も各国の金融・貿易政策による為替や市況変動リスクはあったものの、全体としては緩やかな回復基調を維持しました。

このような状況の下、機能素材、加工材料、電子、

自動車・エネルギー、生活関連の各セグメントとも増収増益を達成しました。その結果、売上高は、7,839億3千万円(前期比8.5%増)となりました。

利益面では、増収による増益に加え、数理計算上の差異の償却に伴う退職給付費用が減少したことなどにより、営業利益が241億1千万円(同60.5%増)、経常利益は259億8千万円(同58.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は171億7千万円(同66.2%増)と、いずれも過去最高を更新しました。

業績レビュー



Q 2019年3月期の見通しはいかがですか？

A **引き続き中期経営計画「ACE-2020」の施策を確実に実行し、増収増益を目指します。**

当社は、2021年3月期(2020年度)までの中期経営計画「ACE-2020」を策定し、「収益構造の変革」と「企業風土の変革」に取り組んでいます。引き続きACE-2020を推進し、企業価値向上に努めてまいります。

2019年3月期の業績につきましては、売上高8,280億円(前期比5.6%増)、営業利益255億円(同5.7%増)、経常利益275億円(同5.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益186億円(同8.3%増)となる見通しです。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A **足元の結果に満足せず、「ACE-2020」の達成に向けて邁進してまいります。**

2019年3月期は、5ヶ年の中期経営計画「ACE-

2020」の折り返しとなる3年目を迎えます。

P.5にご紹介している具体的取り組みの一例をはじめ、グループ社員全員が、主体性・責任感を持って「ACE-2020」の各施策に取り組んでいます。成果は徐々に顕在化しており、目標達成は現実味を帯びてきていると感じています。引き続き、緩まず、ぶれることなく推進してまいります。

2018年3月期の期末配当に関しましては、普通配当18円に特別配当5円を加え、1株当たり23円、年間配当は1株当たり40円とさせていただきます。

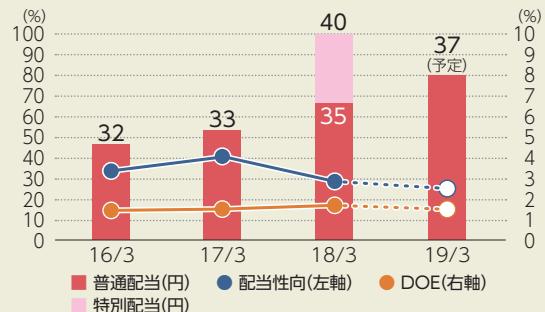
2019年3月期の配当につきましては、今期の普通配当に比べ2円増配の1株当たり37円(中間18円、期末19円)を予定しております。

株主の皆様におかれましては、当社グループの将来性にご期待いただき、今後とも長きにわたりご支援を賜りますようお願い申し上げます。

利益配分に関する基本方針

当社は、収益力の向上と企業体質の一層の充実強化を図り、連結業績連動を基礎とした、株主の皆様への安定配当を継続して行うことを基本方針としております。

また、内部留保した資金の用途につきましては、今後の事業拡大ならびに経営基盤の強化に有効活用していく考えであります。



決算ハイライト

セグメント別売上高構成比



- 機能素材
- 加工材料
- 電子
- 自動車・エネルギー
- 生活関連

機能素材

売上高 1,760億円
営業利益 51億円



当期の状況

自動車生産台数の堅調な推移により塗料原料・ウレタン原料が好調、電子業界向けフッ素ケミカル・エレクトロニクスケミカル・加工油剤原料なども好調に推移し、国内外ともに増収。

加工材料

売上高 2,628億円
営業利益 67億円



当期の状況

顔料・添加剤や情報印刷関連材料、工業用・包装材料用およびOA・ゲーム機器業界向けへの合成樹脂などの販売が好調に推移し、国内外ともに増収。

電子

売上高 1,293億円
営業利益 89億円



当期の状況

スマートフォン向け加工部材は低調であったものの、フォトソニ材料や装置関連、変性エポキシ樹脂関連など、国内外の製造子会社が堅調に推移したことにより、全体として増収。

自動車・エネルギー

売上高 1,297億円
営業利益 24億円



当期の状況

国内、グレーターチャイナおよびアセアンにおいて樹脂ビジネスが好調に推移し、国内外ともに増収。

生活関連

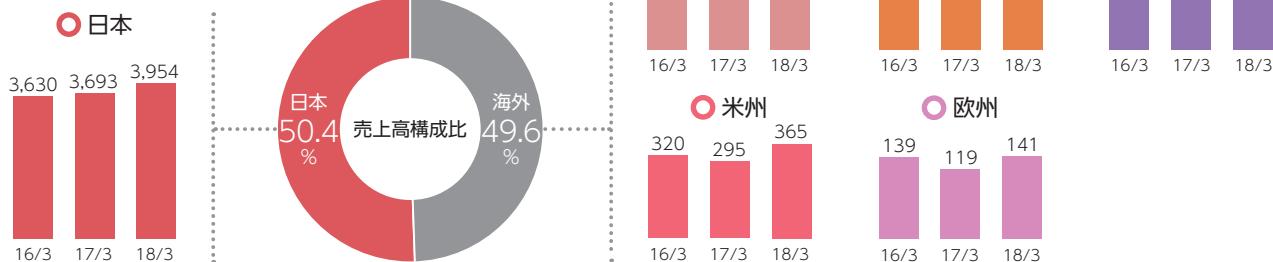
売上高 853億円
営業利益 42億円



当期の状況

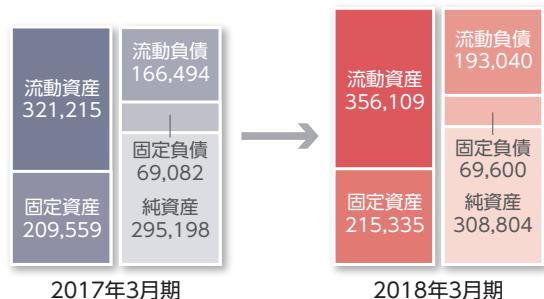
食品素材分野は、国内は横ばい、海外は欧州を中心に増収。スキンケア・トイレタリー分野は、国内での主要顧客に対する売上は増加し、全体として増収。

地域別売上高構成比 (億円)

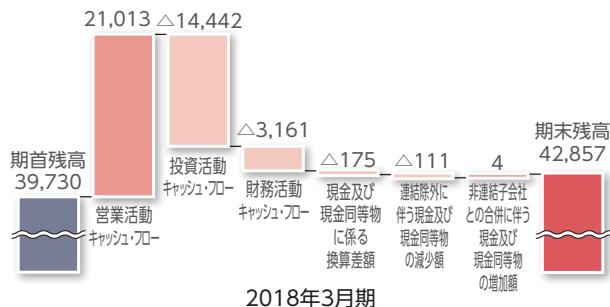


連結財務諸表サマリー (百万円)

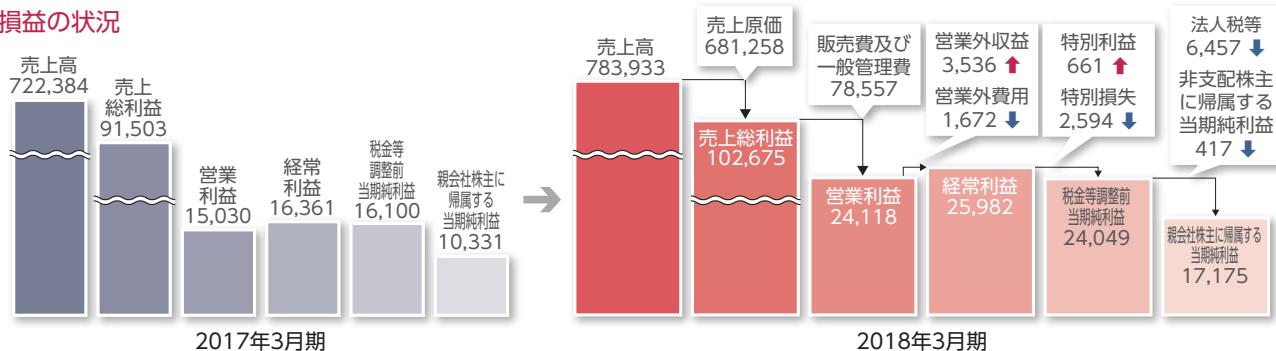
資産・負債・純資産の状況



キャッシュ・フローの状況



損益の状況



TOPICS
1

高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」の 生産・販売会社を設立

当社は、東洋紡株式会社との合併により「薄い」、「軽い」、「割れない」、「曲がる」などの特性を持ったフレキシブルディスプレイを実現可能な高耐熱性ポリイミドフィルム「ゼノマックス®」の生産・販売会社「ゼノマックスジャパン株式会社」を福井県に設立しました。「ゼノマックス®」の特性を生かし、フレキシブルな有機ELディスプレイや各種センサー、さらにはマイクロLEDといった次世代ディスプレイ用途での展開を図り、早期に100億円規模の事業の構築を目指します。



ゼノマックスジャパン(株)の設立報告
(左から)福井県 西川知事、東洋紡(株) 植原社長、
当社 朝倉

TOPICS
2

中国に新エネルギー車向け 精密金属インサート成形部品製造会社を設立

当社は、深圳市科達利實業股份有限公司(以下[KDL])、株式会社アテックス(以下「アテックス」)、およびNAGASEグループの広州長瀬貿易有限公司と、中国惠州に電気自動車等の新エネルギー車向け精密金属インサート成形部品の製造会社(以下「合併会社」)を設立しました。

アテックスは、当社の資本業務提携先であり、国内で精密金属インサート成形部品において豊富な実績があります。また、KDLは、グローバルな大手バッテリーメーカーを主要顧客とする中国最大手のリチウムイオンバッテリー部材メーカーで、特にEV用バッテリーのケースではトップクラスのシェアを誇ります。

合併会社は、今後中国で急成長が見込まれる新エネルギー車(電気自動車、プラグインハイブリッドカー、燃料電池車)の電気駆動系部品向けに、高品質な成形部品を現地生産により供給し、拡大する新エネルギー車への採用展開を目指します。



設立契約調印式
(左から)広州長瀬 山口、KDL 励董事長、
当社 朝倉、(株)アテックス 浅野代表取締役

TOPICS
3

世界初の技術を持つベンチャーKyuluxに5億円出資

当社は、株式会社Kyulux(以下「Kyulux」)に5億円出資し、Kyuluxが第三者割当増資により発行した株式を取得しました。

Kyuluxは、有機ELディスプレイの発光素子材料を開発・販売するベンチャーであり、これまで有機ELディスプレイの弱点とされてきた「高コスト・低寿命・電力消費効率の悪さ」を改善する世界初の技術を保有しています。有機ELは、液晶に比べて薄型で曲げられるなどの特徴があり、次世代型ディスプレイとして注目が集まっています。Kyuluxの技術と当社の化学分野における長年のノウハウ、ディスプレイ業界での幅広いネットワークを生かして、グローバルな事業展開を目指します。



会社概要

商号	長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
創業	1832年(天保3年)6月18日
設立	1917年(大正6年)12月9日
資本金	9,699百万円
従業員	861名(連結6,312名)
主要な事業所	大阪本社、東京本社、名古屋支店、 ナガセR&Dセンター(兵庫県神戸市)、 ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県 尼崎市)、堺営業所(大阪府堺市)

取締役・監査役 (2018年6月22日現在)

代表取締役会長	長瀬	洋
取締役副会長	長瀬	玲二
代表取締役社長	朝倉	研二
代表取締役	名波	瑞郎
取締役	森下	治
取締役	若林	市郎
取締役	山内	孝典
取締役	池本	眞也
社外取締役	西	秀訓
社外取締役	家守	伸正
監査役	松木	健一
社外監査役(常勤)	白藤	信之
監査役	古川	方理
社外監査役	松井	巖

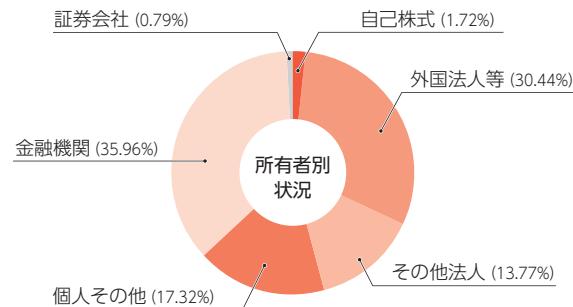
株式の状況

発行済株式の総数	127,408,285株
株主数	11,357名

大株主の状況

株主名	当社への 出資状況	
	持株数 千株	持株比率 %
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,936	5.44
三井住友信託銀行株式会社	5,776	4.53
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	5,772	4.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,932	3.87
株式会社三井住友銀行	4,377	3.44
日本生命保険相互会社	3,589	2.82
長瀬 令子	3,549	2.79
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	3,264	2.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,970	2.33
株式会社長瀬舜造	2,688	2.11

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031

ホームページ URL <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載URL <https://www.nagase.co.jp/>

単元株式数 100株

株主に対する特典 毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元以上保有の株主を対象に、保有期間に応じて、グループ会社の製品もしくはカタログギフトを贈呈。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

○ 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

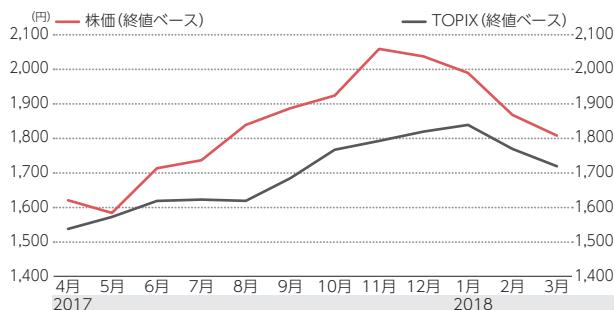
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

○ 特別口座について

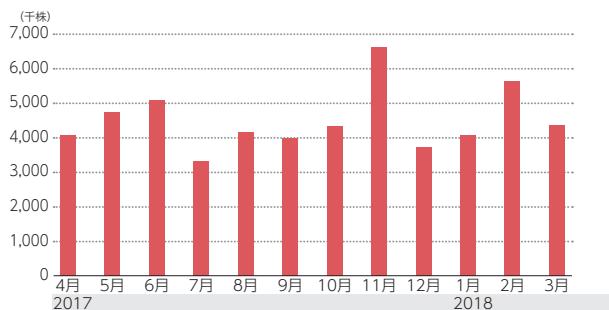
株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株価／出来高の推移 (2017年4月1日～2018年3月31日)

株価の推移



株式売買高の推移



基本理念

NAGASE経営理念

社会の構成員たることを自覚し、誠実に正道を歩む活動により、社会が求める製品とサービスを提供し、会社の発展を通じて、社員の福祉の向上と社会への貢献に努める。

NAGASEビジョン

社員の一人ひとりが、日々の活動で「見つけ、育み、広げる」を体現することにより、「人々が快適に暮らせる安心・安全で温もりある社会」の実現に貢献する。

NAGASEウェイ

- 常に顧客指向であれ
- 常に独創的な挑戦者であれ
- 常にグループ力の活用を考えよ
- 常にグローバルに考えローカルに行動せよ
- 常にシステマティックに考えスピーディーに行動せよ

長瀬産業株式会社

本冊子掲載情報の詳細については当社ウェブサイトをご参照ください

<https://www.nagase.co.jp/> 長瀬産業

検索

